

令和4年12月16日

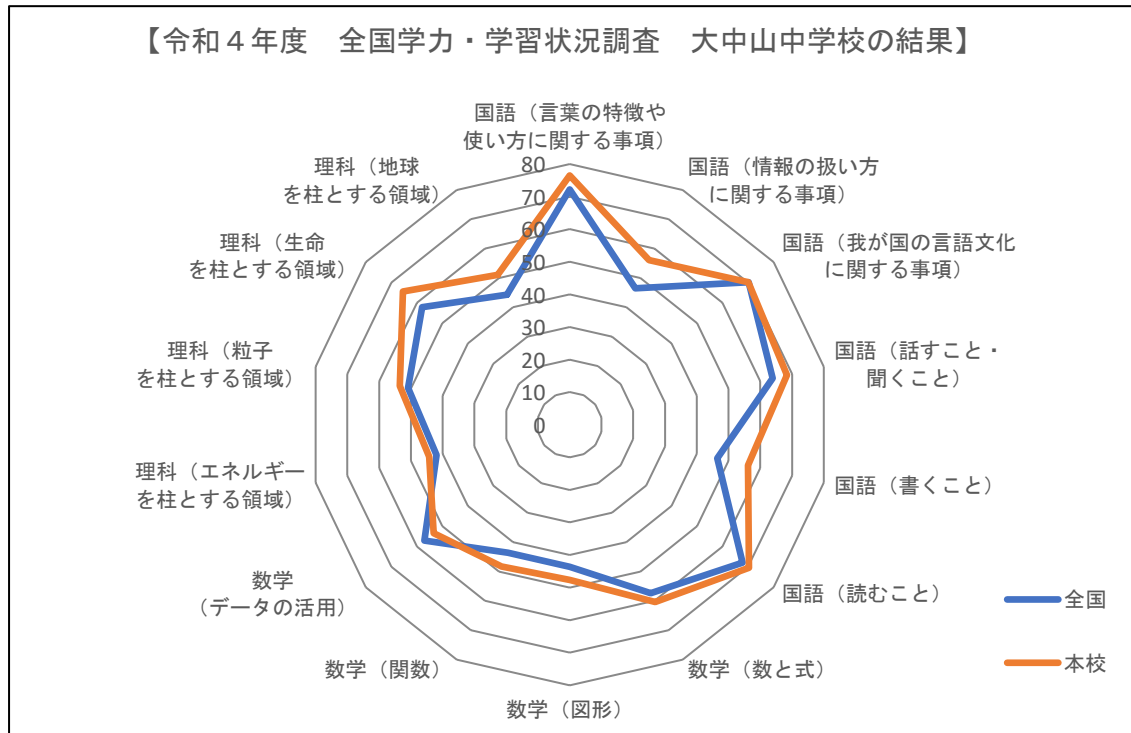
保護者各位

七飯町立大中山中学校
校長 中埜渡 信裕

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について

今年度の全国学力・学習状況調査（4月実施、中学校3年生対象）について過日、結果・状況が発表されました。大中山中学校では結果の分析と今後の取組についてまとめましたので、その一部をお知らせいたします。

本校では今回の結果を踏まえ、生徒一人一人に確かな学力を育むために、効果的な取組については継続し、課題とされる部分については授業等の工夫や改善をより一層すすめて参ります。ご家庭におかれましても学習習慣の確立、生活習慣の改善についてご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



本校のグラフが全国のグラフの外側に位置しているため、ほぼすべての領域・内容において全国の平均正答率を上回っていることがわかります。これまで取り組んできた授業改善（言語活動と課題解決場面を意図的に設定することで、「主体的・対話的な深い学び」を実現する）の成果の一面と捉えています。

3教科共通 (課題)

全国的な傾向でもありますが、記述式の問題において無回答率が高くなる傾向が見られました。無回答の生徒は、「課題に対して自分の考えをもち、言葉で表現すること」や、「データの特徴や傾向を的確に把握し、根拠等を説明すること」が苦手と考えられます。

(課題を踏まえた改善点)

これまでの授業改善の取組を継続し、さらに、自分の考えを「もつ」「書く」活動と、言葉で人に伝える「説明」「話し合い」などの活動を、相互に関連付けながら授業の中に位置付けます。

数学 (課題)

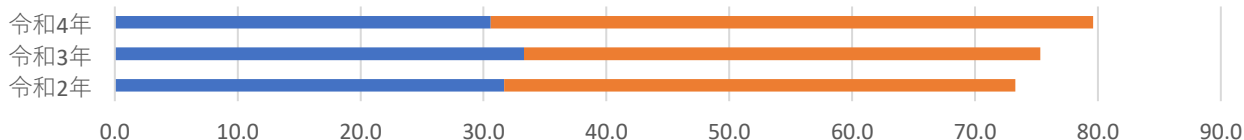
「データの活用」領域に関して課題が見られました。特に「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」「データの分布の特徴を読み取る」問題において、正答率が低い結果でした。

(課題を踏まえた改善点)

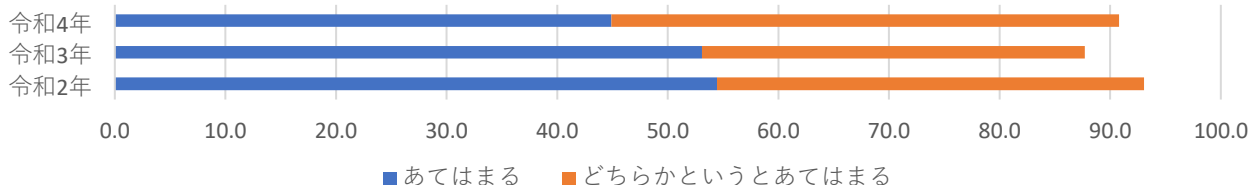
「データの活用」領域において、単元計画を見直し、丁寧な指導でわかりやすい授業を行います。具体的な活動の一つとして、データの傾向や分布の特徴を読み取り、説明する活動を多く取り入れます。また、「自分なりの表現」に加えて「数学的な表現」を用いることを推奨した授業を実施します。

生徒質問紙から

毎日、同じくらいの時刻に寝ている[%]

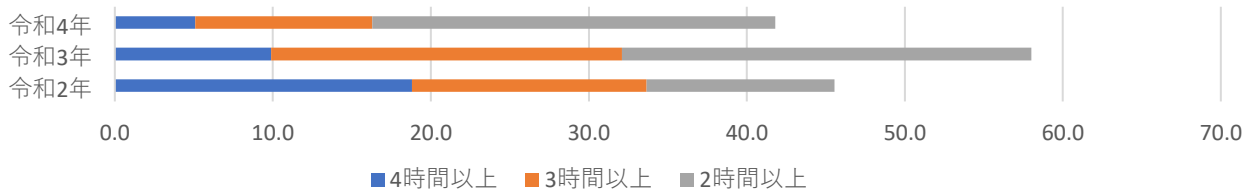


毎日、同じくらいの時刻に起きている[%]

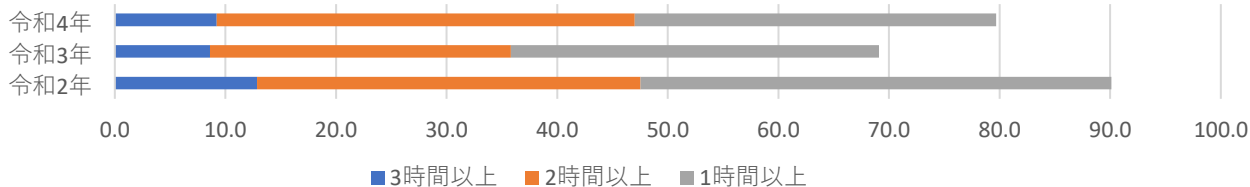


大多数の生徒が定時に寝起きをしていることが分かります。一方で不規則な就寝・起床の生徒が10～20%ほどおります。規則正しい生活は健康的に生活・学習する基盤となります。集中して意欲的に学習に臨むためにも、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣づくりをさらに促す指導や取組を充実させることが大切と考えます。

1日にTVゲーム、PCゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホのゲームをする時間[%]

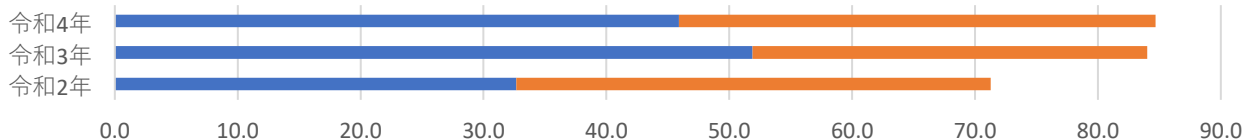


1日にどのくらいの時間勉強するか（塾や家庭教師を含む）[%]

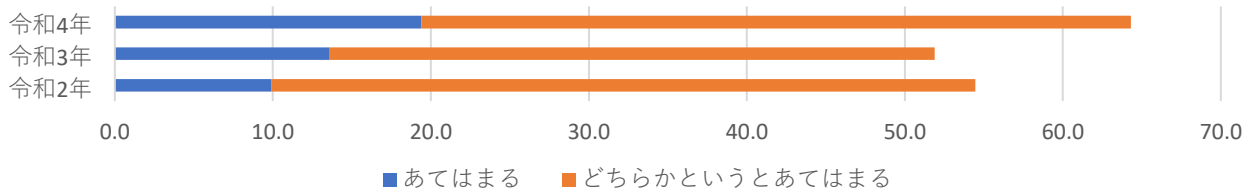


1日にゲームをする時間が多い生徒の割合が減少傾向にあり、それと連動して家庭学習の時間が長くなっているということが言えます。「ゲームをする時間が短い生徒ほど、正答率が高い」という集計結果も示されています。またゲームのし過ぎは寝不足や体調不良の原因となりますので、次の日の学習のためにも、節度ある使用を心がける必要があります。

自分にはよいところがあると思う[%]



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している[%]



引き続き自己受容・自己肯定感を高める声かけや他を認める気もちの醸成、子どもたちの前向きな気もちを引き出すような言葉がけに努めます。